

## LIXILグループの温室効果ガス削減目標が 国際イニシアチブ「Science Based Targets」の承認取得

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）では、当社が設定した温室効果ガス削減目標が、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ<sup>※1</sup>」により科学的根拠に基づいた削減目標として承認されました。世界の Building Products セクターの企業の中で初めての承認取得となります。

※1 産業革命前からの気温上昇を 2℃未満に抑えるための科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標達成を推進することを目的として、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が2015年に共同で設立。

LIXIL グループは2016年3月にコーポレート・レスポンシビリティ（CR）戦略を刷新し、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」という特に緊急性の高い3つの重要課題への取り組みを進めています。この戦略の一環として、「環境ビジョン2030」を設定し、2030年までに製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」の実現を目指しています。



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

今回、SBT イニシアチブから承認された目標は、「環境ビジョン2030」を実現する上での「事業活動による環境負荷」の削減目標であり、2030年までに2015年度比で、スコープ1、2<sup>※2</sup>を30%削減、製品使用によるスコープ3<sup>※3</sup>を15%削減するものです。この目標達成に向けて、より一層の効率的なエネルギーの利用や再生可能エネルギーの導入、優れた環境性能を持った製品・サービスやZEH<sup>※4</sup>の普及促進を実施していきます。

※2 スコープ1、2：自社で使用した燃料、電気に伴う温室効果ガス排出

※3 スコープ3：調達や製品の使用など、サプライチェーン上での温室効果ガス排出

※4 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）：住まいの断熱性・設備効率を上げ（省エネ）、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより（創エネ）、年間の一次エネルギー消費量の収支をプラスマイナス「ゼロ」とする住宅。



環境ビジョン2030について：<http://www.lixil.com/jp/sustainability/activities/environment.html>

## LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループは、原材料調達から製品廃棄に至るまで、サプライチェーン全体における環境負荷の低減に取り組んでいます。より豊かで快適な住まいと暮らしの実現に向けて、優れた環境性能と利便性を両立する製品・サービスを提供し、気候変動という社会課題の解決に貢献します」

## ■ LIXIL、LIXIL グループについて

### LIXILについて

株式会社LIXILは、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、American Standard、GROHE、DXV、INAX、Permasteelisaをはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界150カ国以上で事業を展開し、70,000人超の従業員を擁しています。

LIXIL ウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

### LIXILグループについて

株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社LIXILをはじめ、株式会社LIXILビバ、株式会社LIXIL住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017年3月期の連結売上高は1兆7,864億円※です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準（IFRS）ベース